

去る5月20日(日)、日曜参観の2校時に高宮城修 氏を講師に「情報モラル講演会」を開催しました。

ネットいじめパトロール隊の高宮城修さんを講師に「ネット・LINEのいじめの実態と対策」と題して、小学校3年生以上の子どもたちを対象とした講演会でした。

近年、子ども達の将来なりた職業の上位にユーチューバーがランクインしてきたそうです。ユーチューバーとは、インターネット上の動画共有サービスであるYouTube(ユーチューブ)に動画を投稿し、広告収入を得る人たちのことです。高収入を得ている人もいます。ただし、YouTube(ユーチューブ)に動画を投稿できるのは13歳以上です。小学生が投稿することはできません。それは、ネットのトラブルに巻き込まれないようにするためです。

LANEでのいじめやトラブルもふえています。LANEが全て悪いわけではないのですが、ルールを守らないといけません。

今、ネット上、LINEの上で人の悪口を書き込む人がいます。「ちょっと気に入らないから、軽い気持ちで書き込んだ。」「ネット上のことだからどうせ相手にはバレない。」「ふざけただけ」「みんなに合わせて書き込まないと、自分が悪口を書かれる」・・・でも、ネット上にひとの悪口を書くことは犯罪です。もし、ネット上やLINEに悪口を書かれたら、お父さん、お母さん、先生にすぐ相談することが大切です。また、LANEを親に見せることでトラブルを予防することにもなります。

頭のよい人は、前頭葉を上手に使っており、逆に前頭葉を使わないのは、テレビを見ているとき、スマホをさわっているとき、ゲームをしているときです。前頭前野を活発にするためには、朝6時に起きて、○簡単な計算を速く解く○音読をする○漢字の書き取りをすることです。その前頭葉の働きをよくする「夢のような薬」はメラトニンというそうです。それは、睡眠をとるだけで、脳に分泌されます。

学習の定着を図り、心も体も休める「睡眠」は大切なのです。

スマートフォン、ゲーム機、パソコン、液晶テレビから大量に放出されるブルーライトは、その大切な「睡眠」を阻害してしまいます。1日に長時間それらに接していると眠れなくなるということです。

さらに、長時間使用で「近見反応異常」が起きることがあり、立体感や遠近感に異常をきたし、スポーツなどでけがをしやすくなるそうです。

テレビやゲーム機、スマートフォンを全く使用しないということはいけません。その使用する時間を決めることが大切なのです。

スマートフォンは情報を世界へ発信できます。安易に使うことなく、責任をもって活用することが大切だと、高宮城さんは、お話しして下さいました。



講師  
高宮城修 氏  
プロフィール

沖縄市教育委員会沖縄市立教育研究所コンピュータインストラクター

沖縄市青少年協議会 青少年指導員

(元)中部美容専門学校 情報技術非常勤講師

(元)宜野湾市教育委員会嘱託 青少年サポートセンター SSW

日本商工会議所認定日商マスター (IT 講師資格)

サーティファイ コミュニケーション検定 認定講師

全国 Web カウンセリング協会認定不登校アドバイザー

全国 web カウンセリング協会認定ネットいじめ対応アドバイザー

全国 web カウンセリング協会認定ネットいじめ・ネット犯罪対応士

【他の活動紹介】

平成 25 年度沖縄市活性化 100 人委員会

子どもたちが主人公となるまちづくりを考える部会委員

平成 25 年度沖縄市こどものまち基本条例検討協議会委員

平成 25、26 年度沖縄市立山内小学校 PTA 会長

平成 26、27 年度 沖縄市 PTA 連合会副会長

平成 26、27 年度 中頭郡 PTA 連合会理事

平成 27、28 年度 沖縄県 PTA 連合会監事



写真9 講演会の様子①



写真10 講演会の様子②

### 講演会後の子どもたちの感想発表

OLINEの書き込みによっては、いじめやトラブルがあることがわかったので、LINEにそんなことが起きたら、この講演会で学んだことを活かして、注意しようと思いました。今日は、いろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。

(6年生 男子)

○朝、簡単な計算や漢字の書き取り、音読をする事で、前頭前野を活動させることができるということがわかりました。

できることから始めたいと思います。今日は、どうもありがとうございました。

(6年生 女子)